

神奈川県教育委員会教育長 殿

## 学校教育計画（令和2年度～令和5年度）

学校名	県立神奈川工業 高等学校（定時制）	課程・学科 教育部門・学 部	定時制 機械科・建設科・電気科
-----	----------------------	----------------------	--------------------

### 1 学校のミッション

定時制専門学科の高校として、産業動向等に適切に対応し、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に因るため、学年制によるカリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組み、学力の育成、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的に自立することをめざした学校づくりに取り組む。

教育課程については、工業に関する専門教科・科目を中心に、専門性の向上を図る教育に重点を置いて、実際の・体験的学習を重視して産業界等との連携をより一層深めるとともに、共通教科・科目の適切な設置に基づいて編成を行う。

これまで、他者の人格を尊重することができる人材の育成をめざし、人と科学技術・自然との共生の意識を育むことに取り組んできたが、今後はさらに、すべての教科等において、学び直しや生徒が互いに学び合う学習活動を取り入れるなど、知識・技能の習得のみならず、それらを活用する力を育む魅力ある授業を展開し、生徒の主体的に学ぶ意欲を高めるとともに、生徒一人ひとりの抱える課題を踏まえた適切な支援を行い、卒業と進路希望の実現に向けたきめ細かい指導に取り組む。

### 2 学校教育目標

- 人間性豊かな工業人の育成をめざす
  - ・組織的な授業改善により学習意欲を高め、確かな学力の向上をめざすとともに、定時制課程の工業高校としての教育活動のさらなる充実を図る。
  - ・豊かな人間性や社会性を培い、社会に主体的に関わろうとする意欲を高める教育に取り組む。
  - ・一人ひとりの能力や適性に応じた進路指導を充実させ、社会的、職業的に自立することを目指した学校づくりを推進する。
  - ・地域との連携を通して教育活動の活性化を図るとともに、学校防災力の向上に努める。また、不祥事防止に取り組み、信頼される学校づくりを推進する。

### 3 計画策定時点での課題

- 学び直しや生徒が互いに学び合う学習機会を増やし、ICT機器を積極的に活用した組織的な授業改善に努め、知識・技能の習得のみならず、生徒の主体的に学ぶ意欲を高める一層の取組が必要である。
- 基本的な生活習慣や相手を思いやる心の育成、及び社会を構成する一員としての自覚を育む教育活動に、継続して取り組む必要がある。
- 生徒一人ひとりの抱える課題を踏まえた適切な支援を行い、卒業と進路希望の実現に向けた意識改革を促すとともに、きめ細かい指導に取り組む必要がある。
- 夜間定時制という時間的制約もあり、十分な地域との連携ができていない。

#### 4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>工業の専門性の向上を図り、実際の・体験的学習に重点を置くとともに、産業界の求める人材を育成するための新しい教育課程を編成し、学校全体でカリキュラム・マネジメントに取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>確かな基礎学力の定着に努め、それをベースとした専門技術・技能の習得を図る。</li> <li>課題解決能力を育む魅力ある授業を展開できるよう授業改善を図る。</li> <li>生徒や時代のニーズに合ったカリキュラムを提供できるようマネジメントを行う。</li> </ul>
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>豊かな人間性の育成を図るとともに、個に応じた生徒支援と相談体制の一層の充実により生徒理解に努め、生徒が安心して学べる学校づくりを進める。</li> <li>社会的・職業的に自立した人材の育成をめざす。</li> <li>部活動の活性化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人格を尊重し、偏見や差別のない豊かな人間性を身につけるとともに、公共物を大切にする精神、態度を育成する。</li> <li>個々の生徒の理解に努め、教育相談体制を充実させ、きめ細かな支援を行う。</li> <li>基本的な生活習慣、挨拶、清掃等の指導を通し、社会規範・道徳意識を持ち、主体的に行動できる人材を育成する。</li> <li>部活動の活性化と参加促進を図り、充実した高校生活に向けた支援を行う。</li> </ul>
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>入学から卒業までの体系化したキャリア教育を確実に実践し、社会を構成する一員としての自覚を育む進路指導・支援に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャリア教育実践プログラムに基づき一貫した指導を行い、生徒の希望に沿った進路が実現できるよう支援する。</li> <li>企業・学校見学等を推進し、ミスマッチのない進路指導を実践する。</li> </ul>
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域・企業との連携・協働を通して教育活動を活性化させ、地域に開かれた信頼される学校づくりを推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域清掃など、地域や企業との積極的な係わりを持てる活動を企画し、地域に貢献する意識を啓発する。</li> <li>地域に本校のPRを行い、教育活動の活性化をめざす。</li> </ul>
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故防止の徹底に取り組むとともに、防災意識を高め学校防災力の向上を図る。</li> <li>生徒と向き合う時間を確保するため、組織的な学校運営と校務の効率化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>危険予知活動を毎月実施するとともに、災害対応意識を高めるために、机上災害訓練及び避難訓練を実施する。</li> <li>長時間勤務を是正し、勤務時間内の会議の徹底を図る。</li> </ul>